



# NEWS LETTER

# PH

NPO法人  
科学的根拠に基づく  
健康寿命を伸ばす会

**No.3**

**令和6年5月30日**

PH会ニュースレター  
(2024年5月)

目次

1. 最近のニュース(興味ある研究や新聞記事)
  - ・総説 乱用薬物とコロナ渦 長野哲雄
  - ・老化は予防できるかも? 阿部皓一
  - ・放射線を正しく知ろう-2 身の回りの放射線 小澤俊彦
  
2. 言いたいこと、伝えたいこと、個人的な情報
  - ・つれづれなるままに(2) 大倉一郎
  - ・白毛の世界～基本編～ 下田昌弘

## 乱用薬物とコロナ禍

長野 哲雄

令和 2 年に始まったコロナ禍は種々の社会システムに多大な影響を与えましたが、今回はコロナ禍が覚せい剤および大麻などの乱用薬物事犯の検挙件数にどのような影響を与えたかについてお話ししましょう。

昨年、某大学のアメフト部の学生達の大麻乱用のニュースがマスコミを賑わしました。おそらく、これは大麻が合法化されている国もある事<sup>注 1)</sup>などから、最近の若者の間で大麻に対する抵抗感が希薄になっている事に起因しているのでしょうか。一方、覚せい剤の検挙件数コロナ禍で大きな減少しましたが、コロナ禍の沈静化と共に再び増加しています(令和 5 年の覚せい剤押収量は令和 4 年の 3 倍)。

### 1. 覚せい剤と大麻について

はじめに乱用薬物の大部分を占める覚せい剤と大麻について紹介します。

覚せい剤(図1)にはアンフェタミンとメタンフェタミンがあり、日本では麻薬やコカイン等の全ての乱用薬物を含めて、検挙者数が最も多いのが覚せい剤事犯です。別名で「シャブ」「エス」「スピード」「アイス」などと呼ばれています。神経に作用して異常な興奮状態をもたらし、精神依存もかなり強く、幻覚・幻聴、妄想、猜疑心などの症状が現れます。



図 1. 覚せい剤



図 2. 大麻草

一方、大麻(図2)に関しては、「ハッパ」「グラス」「チョコ」「クサ」「野菜」と呼ばれることもあり、大麻草に含まれる主成分であるTHC(テトラヒドロカンナビノール)(図7)は認知機能や記憶への影響、運動失調と判断力の障害等をもたらします。

## 2. 乱用薬物事犯の件数とコロナ禍の関係について

図3をご覧ください。令和4年の全乱用薬物事犯の検挙人員は前年に比べかなり減少しています(図3、赤線)。これは覚せい剤事犯が大きく減少したことによります。

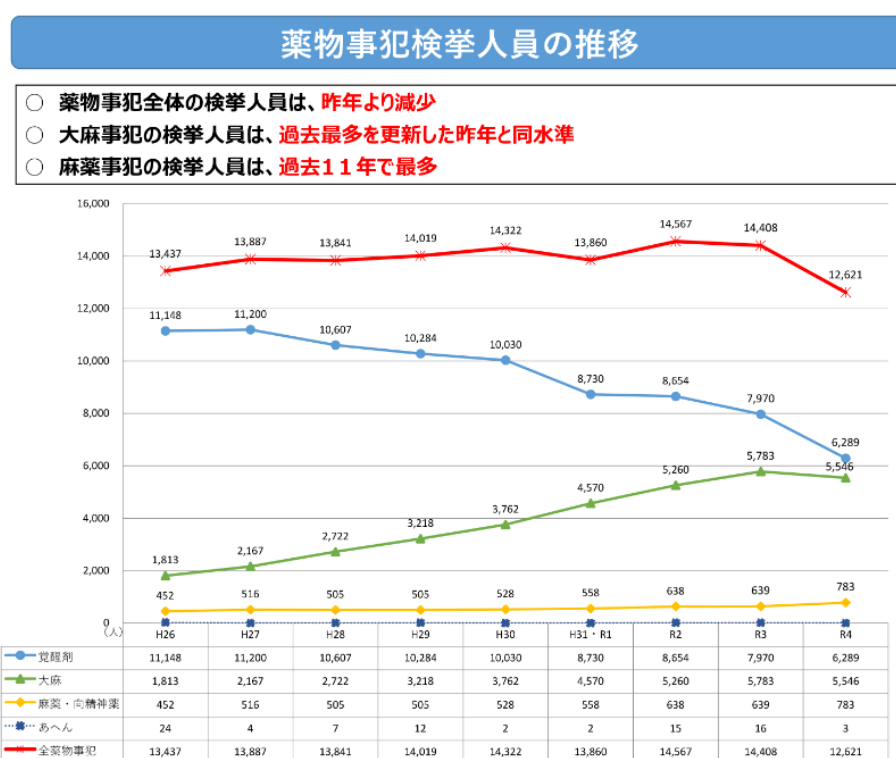


図3. 薬物事犯検挙人員の推移

覚せい剤事犯の検挙人員は減少傾向にあります(図3、青線)、特に令和2年から令和4年にかけて更に減少しました。その一方で、大麻事犯の検挙人員はあまり影響を受けておらず(図3、緑線)、令和2年から令和3年にかけてはむしろ増加しています。これらは外国から薬物の密輸入の方法が関係しています。

外国からの密輸入の摘発件数に関しては、覚せい剤では令和2年は令和元年より-83.1%と激減しています(図4)。それに対して、大麻の方は(図5)、令和2年は元年より-15.1%減少してはいますが、減少率は覚せい剤に比べてかなり少ない結果

です。これは、覚せい剤の密輸入の摘発件数の多くが航空機旅客による密輸入が占めていて、航空機旅客の減少の影響をまともに受けたのに対し、大麻の密輸入の摘発件数の多くは、国際郵便物を利用した密輸入が占めているため、コロナの影響をほとんど受けなかったものと考えられます。同じような乱用薬物でもこのように大きく摘発件数が異なるのは面白い現象ですね。

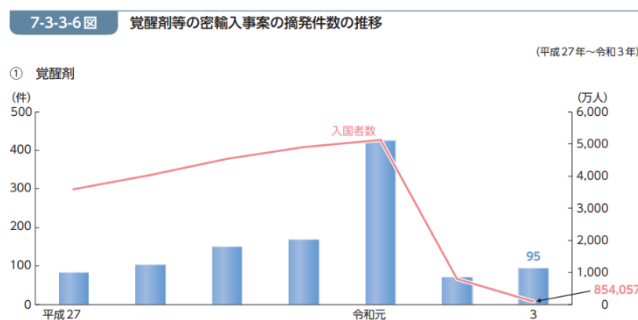


図 4. 覚せい剤等の密輸入事案の摘発件数の推移

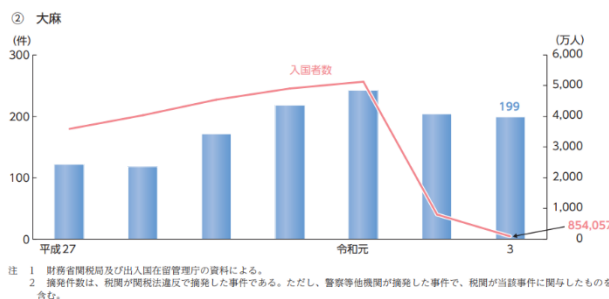


図 5. 大麻の密輸入事案の摘発件数の推移

### 3. 大麻の成分について

次に大麻の成分についてお話ししたいと思います。

大麻には 100 種類以上の成分が含まれていますが、主成分としてカンナビジオール(CBD)(図 6)とテトラヒドロカンナビノール(THC)(図 7)が知られています。

CBD は難治性てんかんの治療に有効である事が学術上認められています。その一方で THC は大麻草の幻覚や認知機能障害など種々の症状の本体と言われており、規制対象です。なんと大麻には薬物も毒物も含まれている凄い植物なのですね。

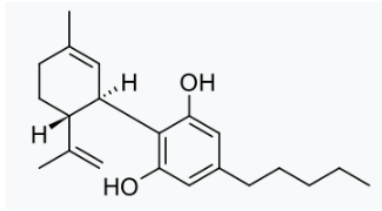


図 6. カンナビジオール(CBD)

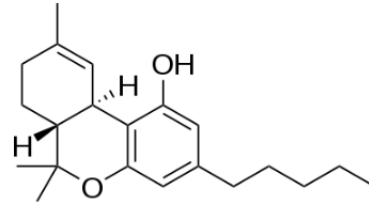


図 7. テトラヒドロカンナビノール(THC)

ややこしい事に、THCA<sup>注2)</sup>成分は大麻の茎や葉等の部位によって含有量が違います。特に穂(花部位を含む)や葉にはTHCAが多く含まれており、そのためこれまで違法な大麻は「大麻草の熟成茎・種(実)以外」とされ、規制対象とされていました(図8)<sup>注3)</sup>。

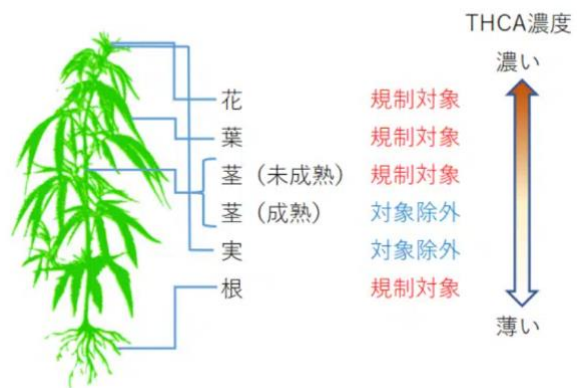


図 8. 大麻草と各部位の規制の有無

昨年(2023年)12月6日に大麻取締法が改正されました。75年ぶりの大改正で、2024年に施行されます。

改正法では、従来は大麻草部位(花、葉、茎、種など)による規制だったのに対して、「THC(THCA)を一定量以上含んだ大麻草やその製品」を違法としていて、成分による規制に変わりました。ただし、THC(THCA)が規制値以下でも大麻草の形状を有する製品に対しては、違法で一般的には認められないとされているので、この点に関して実質は法改正で変わる事はないでしょう。

この改正で大きく変わる点は、これまで不可能だったCBDの国内生産が可能となることで、これに関する医薬、化粧品、健康関連などの産業が拡大されることになるでしょう<sup>注4)</sup>。

医薬産業については、具体的には大麻草由来のCBDを有効成分とする医薬品として、既に「エピディオレックス」があります。英GW Pharmaceuticals社が開発を

進め、2018年6月に米食品医薬品局(FDA)から難治性てんかんであるレノックス・ガストー症候群(LGS)とドラベ症候群(DS)に対する承認を取得しています。欧州でも2019年9月にLGSとDSに対する承認を取得し、その後、米国、欧州とも結節性硬化症(TSC)にも適応症を広げました。日本には、重症のてんかんであるDSの患者が約3000人、LGSの患者が約4300人、TSCの患者が約4000人から12000人いるとされています。日本において今回の法改正に伴って治験が開始されることになるでしょう。

今回の改正は若者の大麻検挙者の増加に歯止めをかける1次予防の強化策でもあります。大麻の有効な成分は活用し、その一方で人体に有害な成分を明確化して、厳罰を持って臨むことになりました。

## おわりに

今回の「総説」はPH会の主テーマである健康寿命とは直接は関係しない乱用薬物を取り上げました。関係しないと書きましたが、この度大麻成分から新たな医薬品が創出される事になり、健康に全く関係ないわけでもありません。また、若者の健康をむしばむ大麻の毒成分(THC)を認可している国はありません。このような観点から、最近話題の多い乱用薬物を取り上げましたが、興味を持って頂けましたでしょうか。

さて、ここで最後に問題です。

コロナ禍は社会に色々な影響を与えたと述べましたが、一般の犯罪件数にも大きな変化が見られます。皆さんはコロナの影響を最も強く受けて、件数が激減した犯罪をご存じですか？ 解答は最終ページに示しましたが、すぐには見ないで考えてみてください。

注1) 4 ページで述べる大麻草の主成分の一つである CBD そのものあるいは CBD を多く含む大麻草部位を医療用大麻と呼びます。医療用大麻はアジアでは韓国、タイなど、欧州では多くの国で合法化されています(米国は州単位では合法の所もありますが、国としては違法)。また娯楽用大麻を合法化している国や地域はカナダ、メキシコ、米国コロラド州など 5 か国・地域あります(2022 年現在)。

注2) 実は、大麻草の主成分として含まれているのは THC ではなく、THC にカルボン酸が付いたテトラヒドロカンナビノール酸(THCA)で、加熱、伐採などの簡単な操作で容易に脱炭酸反応がおこり、THC に変化します。THCA 自体の幻覚作用は THC に比べ 100 分の 1 くらいでとても弱いのです。

注3) 根の THC(THCA)含有量は少ないのですが、有効な利用法がないため、花や葉と一緒に規制対象とされました。かなりいい加減な決め方ですね。また麻の実は七味唐辛子に含まれており、皆さんはほんの微々たる量ですが、THC を既に食しているのです。

注4) 医薬品への応用以外について紹介しましょう。日本においては、麻は古来より特別な植物と考えられています。ご存じのように神事にも用いられてきました。神事以外にも、「麻の中の蓬」という言葉があります。これは古代中国春秋戦国時代の荀子の思想書「荀子」の一節に由来するようですが、麻は成長が早くまっすぐに育つ植物で、グネグネしている蓬も麻の中で育てばまっすぐになる、つまり善人と交わり交流すれば、人は自然と善人になっていく事の例えとの事です。また、赤ちゃんに麻の葉文様の産着を着せる事もあります。これは麻のようにすくすく育って欲しいという願いが込められたものとの事です。

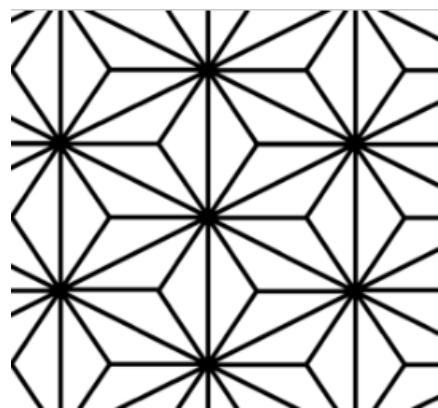


図 9. 麻の葉文様



## 解答

「すり」です。

「侵入窃盗」(総数)なども減少したのですが、「すり」は約 6 分の 1 に激減しました。すりを稼業としている人はかわいそうに廃業でしょうか。下記の年月別件数の図 10、図 11 を見てください。令和元年～3 年の月別の「侵入窃盗」(総数)と「すり」のそれぞれの事犯件数を比べると「侵入窃盗」(総数)も 6 割程度に減っていますが、「すり」の方の減少は著しく大きいですね。ただし 1 月、2 月はそれほどの減少がなかったのはどうしてでしょうか(令和 2 年はまだコロナが始まっていなかったためと思いますが、令和 3 年はコロナ禍による規制が厳しく、初詣の人出も少なかったように思います)。

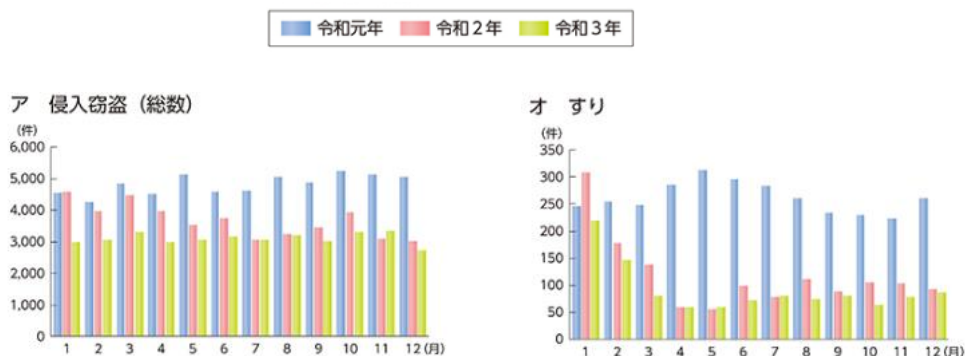


図 10. 年月別の侵入窃盗事犯件数

図 11. 年月別のすり事犯件数

2024/04/24

老化は予防できるかも？

阿部皓一

昨年、「抗老化のための栄養学 -100 歳でも元気に暮らすために-」(阿部出版)をどうにかこうにか、まとめることができましたが、その際、老化を自分なりに真正面から考える機会を得ました。「老いる」は一言でいえば体と心が硬くなることで、「若い」ということは、心身共に柔らかいことと言えます。今日では、老化を病気と考えて、治療できるという新しい考え方が脚光を浴び、年をとること(加齢)は不可逆的なプロセスですが、生理機能が衰える(老化)については、可逆的な面もあり治療さえできることが指摘されています。つまり心身を柔らかくすれば若さを維持できることと解釈しています。

まず身体のフレイル(虚弱)の話をしていきます。身体の動きは基本的に筋肉の伸縮に依っていますので、老化を抗うためには、まずは筋肉をつけ、身体的フレイルから脱却することが大切となります。実際、厚生労働省は健康日本 21(第三次)で、健康寿命の延伸のためにフレイルの予防が大切であると言っています。フレイルの予防のためには筋肉を増やし、かつ運動により作り出される活性酸素の障害を防ぐことが必要となります。筋肉の材料となる良質なタンパク質(アミノ酸スコアの高い食品)を摂り、活性酸素を処理する抗酸化栄養素を摂取し適度な運動をすることが薦められています。実際、筋肉を動かすことでマイオカイン(ミオカインともいう)が分泌され、身体の健康を維持していることも分かっています。舌も筋肉ですから、おしゃべりをするのも筋トレですし、家事も簡単なスポーツですので、お薦めです。

次いで、心のフレイルを予防することも重要となります。心のフレイルの最たるものは認知症であり、認知症予防が需要となります。認知症、特にアルツハイマー病に関しては、期待できる新薬も登場しつつあり、ある程度、治療の見通しがついていますが、認知症予防の基本は、毎日とる食品であり、サプリメントと考えています。心のフレイルを予防するためには脳神経細胞の栄養となる適切な食品(ブレイン・フード)を摂ることは前提条件として必要となります。ブレインフードとしては、ビタミン E、ビタミン C、n-3PUFA(魚油)、銀杏葉成分などがあります。最近のトピックスとして、欧米では、高齢者において認知症の割合が低下していますが、日本、中国、アフリカなど

では、その割合は増えているといわれています。この差が出る原因は定かではありませんが、食生活、生活習慣などが関係し、喫煙、知的レベルなどが原因因子として統計的に捉えられています。ビタミンの伝道師(?)としては、マルチビタミンの摂取習慣も入ると考えています。その理由は、ビタミン 13 種類のうちおよそ半分は欠乏症として認知障害があり、日本、中国などではベースサプリメントとしてマルチビタミンを摂る習慣がないことも可能性があると考えています。

最後に、社会的フレイルですが、人間は社会とのかかわりで、若さを保てている面があります。一日 7 人位以上の人と話すことは認知障害の予防に寄与すると言われています。積極的に外に出て、人とのかかわりを持ちたいものです。そのためには、外に出ていく力と積極的に試みる心の力が必要となります。PH 会も大切なチャンスです。

最後に、老化と免疫について話します。老化の大きな原因として免疫低下(老化免疫)が言われています。免疫を考える際には、免疫細胞の 7 割が存在し、しあわせホルモンのセロトニンのおよそ 90%を生産する腸管の状態の良し悪しが直接絡んできます。腸管とは、神経の網で包まれた筒ともいえ、脳、皮膚などの組織とネットワークを結んでいます。老いの症状はまず消化管が弱くなり、皮膚に出て、筋肉が衰え、感染症に罹りやすくなり、記憶力が低下し始めると考えています。免疫システムに負のブレーキをかけるのが、持続的な大きなストレス(ジストレス)であり、腸環境が異常になります。ストレスには、ユーストレスとジステレスがあり、ユーストレスは瞬時のストレスであり、免疫システムを上げる良いものですが、長期間続くジストレスは、ストレス内分泌反応(視床下部→脳下垂体→副腎、HPA 経路)を活性化してストレス回避ホルモンのコルチゾールを副腎から全身に分泌して体中に微炎症を起こし体調を崩すこととなります。老化を防ぐ手段としては、ジストレスを回避することが一番有力とも考えられます。ストレスを回避するためには、ポジティブ思考、またはストレスを忘れるスポーツや熱中できる趣味などが良いと考えられます。人間は忘れやすい動物であり、ストレスもしばしば忘れてしまうからです。また、抗酸化栄養素もジストレス軽減に関与します。

終わりに、私は、フレイル予防のために、家事(簡単なスポーツ)を手伝い、毎朝、マルチビタミン、抗老化栄養素を十分に摂っています。さらに、認知症予防のためには頭を使うゲームが良いと言われ、第 1 線を退いてから、「才能なし」ですが頭を使う俳句を始めています。長野先生がお薦めの川柳はもっと効果的かもしれません。

最近では、スマホ、PC などの情報に頼りすぎる創造力欠乏症候群が流行っていて脳の健康状態は危険のシグナルが出ていると思います。是非、積極的に何か作り出して老化を吹き飛ばしてください。

つらつらと老化について雑感を述べましたが、喜寿をすぐそこに迎えている老人のたわごとと一笑くだされば、幸甚です。

皆様が 100 歳までも元気で暮らせるように願っています。

ケロヤン・ジィジィより

## 放射線を正しく知ろうー2 身の回りの放射線

小澤俊彦

一つ驚いたことがあります。それは自分が生活している環境では放射線が全く無いと思っている人が多いということです。実は私たちは毎日放射線をあびていますし、私たちの体の中にも放射性物質が存在しているのです。そこでここでは身の回りにどのくらいの放射線があるかを述べたいと思います。

### 自然界からの放射能

地球上に生命が誕生して以来、私たちは自然界から低レベルの放射線を受けてきています(図3)。また、大気圏外からの放射線(宇宙線)も受けています。その放射線量は低いのですが、航空機の利用で高い高度に上がると、被ばくする線量も増加してきます。例えば、日本と米国を飛行機で往復すると約 0.2mSv の放射線を被ばくしたことになります。放射性元素、特に、カリウム-40( $^{40}\text{K}$ )は動植物の体内に、ラドン(Rn)は岩石や鉱物の中に存在します。これらの放射性元素は、最終的には食品や建築資材などの様々な物質に含まれます。ラドンはガス状で、ウラン鉱山の環境に高濃度に含まれており、労働者の肺がんの原因になりました。建築資材中のウラン(U)やトリウム(Th)からも放出されるので、ラドンは住居環境にも含まれます。大気中  $1\text{m}^3$  中のラドン濃度は、フランスでは 90~100 ベクレル(Bq)、アメリカでは 50Bq、日本では 15Bq 程度と推測されています。なお、ベクレル(Bq)は放射能の強さを表す単位で、1Bq は 1 秒間に 1 個の原子核が壊変することです。空気中に放出されたラドンは呼吸とともに体内に入り、被ばくの原因となります。アメリカでは、自然界のラドンによる肺がんが毎年 21000 人が死亡していると推定されています。

ラドン温泉では温泉水中や吸気中にラドンが含まれていますが、その影響については未だ評価が定まっていません。

一般に、1 人当たりの被ばく線量は天然放射線からは年間世界平均で 2.4mSv、日本平均は約 1.5mSv と推定されています。

### 人工放射線

図3の右側はいろいろな人工的な要因による放射線からの被ばくを示しています。様々な医学検査や治療のために受ける放射線や過去の大気圏内核実験による放射

性降下物(フォールアウト)などがあります。日本ではこのような人工放射線による被ばく線量を年間 1mSv 以下にすることが決められています。

### 体内の自然放射能

自然界の放射性物質は呼吸や食物摂取を通じて体の中に入ってきます。その代表的なものとしてカリウム-40( $^{40}\text{K}$ )や炭素-14( $^{14}\text{C}$ )があります。

人体内の放射能から見てみると最も多く含まれている放射性核種はカリウムの中にも約 0.0117%含まれている  $^{40}\text{K}$ (半減期:12.8 億年)です。 $^{40}\text{K}$  は食品中に含まれている天然の放射性核種の中でも最も多いのです。食物として人体に取り込まれたカリウムは生理的に調節されていて、つねに一定の濃度に保たれていますので  $^{40}\text{K}$  の体内量も一定です。体重 60kg の日本人の成人男子の体内には  $^{40}\text{K}$  が約 4000Bq 存在しています。この  $^{40}\text{K}$  は年齢とともに少なくなり、通常、女性は男性より少ないと考えられています。その他の放射性核種では  $^{14}\text{C}$  が多く、ついでルビジウム-87( $^{87}\text{Rb}$ )、ポロニウム-210( $^{210}\text{Po}$ )、鉛-210( $^{210}\text{Pb}$ )の順になります。また、体重 60kg の成人男性はおおよそ 7000Bq の放射能を出している放射性物質を体内にもっていることになります。ちなみに成人は日常約 2g のカリウムを摂取しており、 $^{40}\text{K}$  は K 全体の 0.0117%なので、 $^{40}\text{K}$  を約 50Bq 摂取していることになり、 $^{40}\text{K}$  による年間被ばく線量は約 0.2mSv になります。

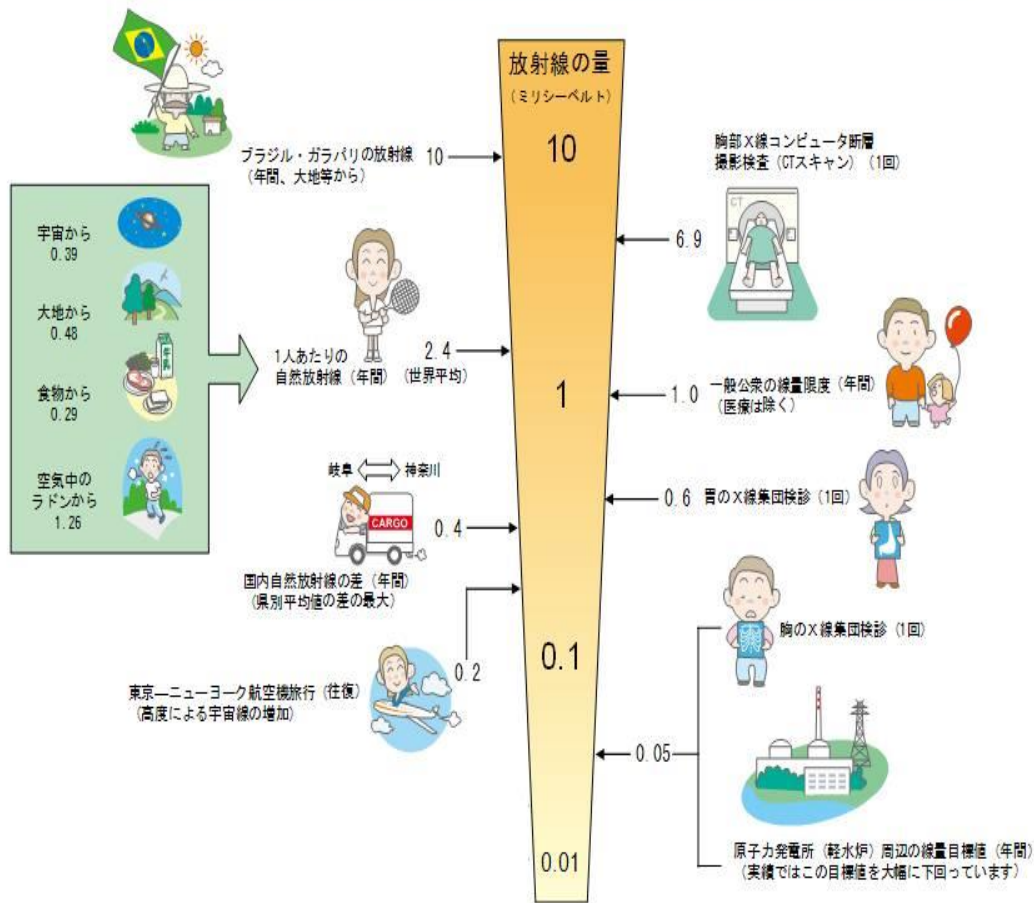
炭素(C)はほとんどの有機物の骨格を形成する基本元素です。ほとんどは放射線を出さない炭素の同位元素ですが、わずかに放射線を出す炭素 14( $^{14}\text{C}$ )が含まれています。しかし、 $^{14}\text{C}$  からの被ばくは無視できるほど少ないと考えられます。

いずれにせよ、人間はおおよそ 7000Bq の放射性物体とすることになります。

日本では昨年 4 月から食品中の放射性セシウム( $^{137}\text{Ce}$ )の基準値が 1kg 当たり一般食品では 100Bq 以下、飲料水が 10Bq 以下、牛乳と乳児用食品が 50Bq 以下に定められました。これは世界でも最も厳しい基準値ですが、私たちの体の中に約 7000Bq の放射性物質があることを考えるとどのくらいの意味があるのかいさか疑問に思えます。

なお、日本では放射線を照射した食品は唯一ジャガイモの発芽を押さえるために  $\gamma$ 線を照射することが許可されているだけで、それ以外は一切放射線照射することは認められていません。また、輸入食品も非照射の物しか認められていません。

### 図3 身の回りの放射線



出典：原子力・エネルギー図面集 2010 (改)

## つれづれなるままに(2)

大倉一郎

前回につづき、とりとめもないことを書かせていただきます。  
今回は犬の話です。

### その1

私は犬が嫌いである。もう少し正確に言うと、私が嫌いと言うよりは犬が私を嫌っているのである。犬小屋の前を通ると必ず吠えられる。他の人が通ってもおとなしくしている。道の反対側にいる犬が私を見て、ウーと吠え始める。どうしてだかわからない。今まで3度ほど犬に噛まれたので、なるべく犬を避けるようにしている。ある時、飲み会が遅くまで続き、二次会は失礼して帰宅しました。家のすぐ近くで、散歩していた秋田犬が急に飛びかかってきて太ももを噛まれました。またコートも唾えられて破れてしまいました。あまりに近所の犬なので穏便にことを済ませました。翌日、犬に噛まれた話をしたところ、「二次会に出席していればそんなことにはならなかった。二次会を欠席して帰るのが悪い」と言われ、少しも同情してもらえませんでした。

もし、小さい子供が噛まれたりすると大変だと思い、町内会の会議で、犬を散歩させるときには口輪(くつわ)してほしいと言ったのですが、ほとんどの人が「犬がかわいそうだ」と言って取り上げてもらえませんでした。

なぜ私だけ犬に嫌われるのかわからないのですが、西郷隆盛の話があります。西郷隆盛は犬好きで知られていて、特に晩年は犬を何匹も飼っていたそうです。その飼い犬の中に、洋服紳士を見れば、吠えたり噛みつこうとする犬がいて、外国人嫌いということで、この犬に「攘夷家」というニックネームを付けていたそうです。この話を考え合わせると、私はどこか日本人離れしているところがあって、外国人嫌いの「攘夷家」のような犬に嫌われているのかもしれない。

### その2、

東工大キャンパスを犬の散歩に使っている人は大勢います。すずかけ台キャンパスではちょうど私の通勤時間と犬の散歩時間が重なるので、散歩している犬とすれ違うことが多く、噛みつかれやしないかひやひやしながらすれ違っていました。そこでキャンパス内の犬の散歩を禁止してもらおうよう提案したところ、飼い主も理解してくれて、すずかけ台キャンパスは犬の散歩が禁止になりました。一方、大岡山キャンパス



は都会の中であり、犬の散歩に絶好の場所です。ここも犬の散歩の禁止を提案したところ、飼い主から今まで1度も事故を起こした事はないので続けさせてほしいとの意見でした。このことが副学長会議で議論され「大倉が1度噛まれてくれれば禁止にできるのに」との返事でした。今でも相変わらず堂々とキャンパス内を犬が闊歩しています。

### その3

アメリカの大学では、建物や教室の入り口によく「No Dog」と書いてあり、犬が教室に入ることを禁止しています。ところがプリンストン大学では禁止されていません。禁止されていないどころか、教授が犬を連れて教室に入ってきます。この先生は犬好きで大きな白い犬を2匹連れて、いつも大学にやってきます。1メートルもある大きさと、モップのような毛で覆われており、どちらが前かわからないような犬です。授業の時も、この犬2匹が先生の隣におとなしく座っています。面白いことに、学生の質問が長引くとウーと言って唸り出します。

私が授業をしていた時、学生の隣の椅子に犬が座っていてびっくりしました。時々あくびをしていましたが、授業が終わるまでおとなしくしていました。

(参考)

日本の大学の授業時間は普通 90 分か 100 分ですが、アメリカの大学では 60 分が普通です。学生は 60 分以上緊張して授業を聞けないからというのが理由のようです。その分、先生の授業回数は増えて大変です。犬も 60 分程度ならおとなしく耐えていられるのかもしれませんが。

# 白毛の世界 ～ 基本編 ～

下田 昌弘

はじめに

「ソダシ」というサラブレッドをご存じですか？ 白毛馬として世界で初めてG Iレースに勝利したサラブレッドです。1896年にアメリカで初めての白毛馬が誕生して以来、120年以上も成しえなかった快挙。この快挙を記念して数回にわたって白毛の紹介をしたいと思います。時間のある方はお付き合いください。今回は基本編です。



ソダシ

サラブレッドの毛色は8種類です。多い順に鹿毛(48.384%)、栗毛(22.788%)、黒鹿毛(16.550%)、芦毛(6.222%)、青鹿毛(4.404%)、青毛(0.829%)、栃栗毛(0.809%)、白毛(0.014%)となります。このように白毛は10,000頭に1,2頭と非常に珍しい毛色となります。芦毛馬も大人になると白毛同様に真っ白になる馬もいますが、生まれた時は栗毛や鹿毛や青毛であり、年を取るとともに白くなっていきます。白毛馬は生まれた時から真っ白で、ここが芦毛馬とは異なるところです。

ほとんどの白毛馬は全身真っ白ですが、まれにブチ模様の白毛馬が誕生します。ブチ模様も人気があり、その見た目から「ブチコ」「マーブルケーキ」「ブッチーニ」などと命名されファンの多い馬となっています。



ブチコ

マーブルケーキ

ブッチーニ

1896年にアメリカで誕生した「ホワイトクロス」が記録上初の白毛馬となります。日本では、1979年に誕生した「ハクタイユウ」が国内初の白毛馬となります。いずれも、突然変異で生じたものです。突然変異で生じた白毛馬は子孫に白毛を遺伝する能力を有しています。遺伝に関しては別の機会に紹介させていただきます。

基本的に突然変異で誕生する白毛馬ですので、確率的に強い馬(血統の良い馬)は現れにくくなります。国内初の白毛馬「ハクタイユウ」も例にもれず、中央で4戦0勝でした。「ハクタイユウ」の系譜からは子・孫・ひ孫と計11頭の白毛馬が誕生していますが、地方で勝利した馬が3頭のみで、中央での勝利は叶いませんでした。

このように、白毛馬の出現は突然変異に頼る部分が大きく、国外においても白毛馬に活躍馬が出ることもありませんでした。この状況を打破する白毛馬が1996年に突然変異により誕生しました。その名は「シラユキヒメ」。ここから「ソダシ」へとつながるお話は、またの機会とさせていただきます。